

## 「日本甲虫学会第5回大会講演要旨集」頒布のお知らせ

大会事務局に若干の残部があります。ご希望の方は事務局にメール等で、郵便番号/住所/氏名/電話番号をご連絡ください。

申込み先： 日本甲虫学会第5回大会事務局 担当：奥島雄一  
E-mail: musoku@city.kurashiki.okayama.jp  
〒710-0046 倉敷市中央2-6-1 倉敷市立自然史博物館  
TEL: 086-425-6037 FAX: 086-425-6038

残部確認して折り返しお返事しますので、それから下記口座へ582円(本体500円+送料82円)をご入金ください。振込手数料はご負担ください。現金書留も受け付けます。

ご入金先： 中国銀行 倉敷本町出張所 普通 1370756  
日本甲虫学会第5回大会事務局 奥島雄一  
(ゆうちょ銀行への振込みをご希望の方はその旨お知らせください。別途ご案内いたします。)

ご入金を確認次第、メール便にて発送します。残部がなくなり次第、終了させていただきます。



(第5回大会事務局 奥島雄一)

## 2014年度採集例会報告

2014年度(第5回)日本甲虫学会採集例会は7月26日から27日にかけて、四国剣山系の夫婦池湖畔のラフォーレつるぎ山にて開催された。現地幹事の吉田正隆氏のご尽力により、調査・観察会として入山許可を所得した。なかなかの盛況であり、参加者は26名であった。

ノリウツギの花は咲きかけであったが、好天候に恵まれて、四国でしか採れないもしくは四国以外では採集が難しい甲虫を採集できた参加者が多かったと思われる。

鹿に食害された広葉樹の幹に次々に飛来したクロホソコバネカミキリやホストの状態に恵まれたトライクビチョッキリが参加者により多数採集された以外にも、*Pidonia*の仲間ではマホロバヒメハナカミキリ、チュウジョウヒメハナカミキリ、コメツキではシコクダングラコメツキ、雑甲虫ではヨコモゾコブゴミムシダマシ等が採集されている。個人の採集品としてはヒメモンシデムシを初採集できたほか、大型で美麗なアカハネブチヒゲハネカクシ、関東では採れないオガタナガタマムシに加えて、新種として記載される



図1. 集合写真.



図2. ナイターの状況.



図3. 第5回採集会参加者のサイン.

(大木裕 横浜市青葉区)

段取り中の国内未記録属のコメツキダマシ *Eucnemis* sp, および剣山で3頭目と思われるシコクオオアオハムシダマシ(死体)をスーピングで採集できて、かなりの成果であった。

静かな湖畔の宿で食事を楽しんだ後、星月夜の下で深夜の2時頃まで会話を楽しむ人達やなぜか蛾を採集する人もいて忘れられない“剣の夜”であった。

鞘翅学会時代から、20年近く採集例会の幹事を担当させていただいたが、来年度からは新しい幹事にバトンタッチし、調査観察会として新しい趣向が試みられるものと考え。

### 自然保護委員会報告

11月23日、倉敷市における大会時に情報交換などを行い、これを基にして電子メールによる委員会を開催した。主な内容は次のとおりである。

- ・東京都RLでCRにランクされているオオヒョウタンゴミムシが伊豆諸島式根島において、駐車場に設置された集水枡に落下し、多数が斃死している。改善策を都環境局担当課に要請中。
- ・各自治体の条例による採集規制については引き続き情報を集める。さやばねNSに掲載済み分は学会HPにアップした。その後では宮崎県があるが、指定種に甲虫は含まれていない。
- ・本年度よりヤシャゲングロウ保全のための環境省モデル事業が始まり、保科・北野・斉藤が検討委員会委員となった。
- ・環境省RL昆虫分科会委員は、甲虫分野では丸山が留任、荒谷・北野が新たに加わる(大原・高桑は退任)予定。
- ・静岡県浜松土木事務所による防潮堤整備は、海浜性昆虫および後背湿地の水生昆虫の保全に向け研究者側の意見を取り入れて設計が進んでいる。ルートが変更され、新たに池環境も創造する予定。
- ・浜松市から水窪経由で飯田市に抜けるバイパス道が計画されている。水窪は甲虫の有名産地であり、影響の有無について注意していきたい。
- ・石垣市が策定中の採集規制問題は、市当局あてに科学的根拠に基づいた、また保全を目的としたリーズナブルな検討を促す文書を提出する。加えて、石垣島固有種リストおよび八重山産で石垣島から記録のない種のリストを作成し、石垣島での甲虫相解明がまだまだ不十分であることを訴える。

(文責：高桑正敏)



**Kitano, T., 2014. Taxonomic notes on the genus *Egleis* Mulsant, 1850 and a description of a new subgenus in the genus *Illeis* Mulsant, 1850 (Coleoptera: Coccinellidae). *Studies and Reports Taxonomical Series* 10 (2): 489-494.**

日本のキイロテントウ(奄美・沖縄亜種を含む)およびアジアの近縁4種に対して新属 *Kiiri* を提唱している。

本論文は、*Studies and Reports Taxonomical Series* というチェコの雑誌に掲載されている。この雑誌は2005年にできた比較的新しい雑誌で、甲虫類の分類や分布に関する論文が多く掲載されている。下記のHPで論文をだれでもダウンロードできる。

<http://www.fld.czu.cz/studiesandreports/published-volumes.html>

(吉富博之 愛媛大学ミュージアム)